

2023年度

ニチイキッズこくふ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月17日（土）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念の下、子ども一人ひとりの気持ちを汲み取り、寄り添いながら保育を行うようにしたことで、子どもたちだけでなく職員も楽しんで保育を行えるようになってきた。
子どもの発達援助	職員間で子どもたちの発達段階や対応の仕方等をその都度話合うことで、子ども一人ひとりを理解できるようになってきた。子ども理解を深めると共に安全意識を高めていき、臨機応変な対応をしていくことが今後の課題である。
保護者に対する支援	感染症対策でなかなか保護者様参加の行事を行うことが難しい中、運動会や生活発表会等の行事に参加していただくことで、子どもたちの育ちであったり日常の保育での様子を見たりして知っていただくことが出来た。登降園時にはその日の様子をお伝えしたり、お家での様子をお聞きしながら、子育ての悩みについて一緒に考え見守ることができた。
保育を支える組織的基盤	日々、安心安全な保育を行うことを目指し、職員間の連携を図る為、報告・連絡・相談などことばの掛け合いを行いながら、わからないことや困りごとがあった際には職員間で話し合ったり、アドバイスをもらうことでスムーズな対応ができるようになってきた。その上で職員各々が広く視野を保ち、子どもの行動予測をしっかりと持って子どもの安全を最優先に保育をすることが課題である。

総評
保育理念の下、保育園を子どもたちがおもいっきり遊んだりおもいっきり学んだりできる場所にするために、安心安全な保育を行うことが一番であると考え、まずは子どもたち一人ひとりに寄り添い、耳を傾け、理解を深めていくことを心掛けた。そうすることで、子どもたちも何かあっても安心して職員に頼ることができるようになった。信頼関係が築けたことで安心して過ごせるようになり、普段の保育だけでなく、行事の時も共に笑顔で参加できるようになった。職員間の連携がスムーズになると職員自身がゆとりをもって動けるようになるので、さらに職員間で話し合う機会が持てるよう、定期的に職員面談や職員会議を行っていきたい。